

**SHIDAX**  
**Please!**



第 **4** 期 事業報告書

**BUSINESS REPORT**

平成16年4月1日～平成17年3月31日



**SHIDAX**  
**Please!**



## 目 次

株主の皆様へ .....	1
連結決算のポイント .....	2
連結データハイライト .....	3
部門別の報告 .....	4
連結財務諸表 .....	6
単体財務諸表 .....	8
クローズアップ .....	9
トピックス .....	12
会社概要 .....	13

## ■ 株主の皆様へ

---

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成16年4月1日から平成17年3月31日に至る当社グループの第4期事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループは、健康で快適な生活を願う人々の声、豊かさの価値を求める社会のニーズに対し、食を通じ高い品質のサービスを提供し、「健康を創る」を企業哲学として、お客様の満足度を最大化することに日々努めております。

また、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。したがって、利益処分に関しては財務体質と経営基盤の強化を図る一方、競争力および企業体質の強化を図るための内部留保に努めるとともに、収益の状況に対応した配当を行うことを基本方針としております。

以上の考え方を踏まえ、平成17年3月期の1株当たり年間配当金を1,500円とさせていただきます。

今後も産業給食事業およびレストランカラオケ事業のリーディングカンパニーとして、既存分野での成長を図るとともに、新事業分野の開発やM & A等の資本スキーム等も活用し、企業グループ全体の資産収益率と企業価値向上を目指していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長  
志太 勤一



## ■ 連結決算のポイント

### 決算概況

当社グループを取り巻く市場環境は、事業所向けの給食市場が企業の構造改革や事業再編成などによる受託施設の減少、契約料金の値下げ要求など厳しい状況が続いています。しかしながら、医療関連施設を中心とした給食市場は、医療制度改革の影響などにより、給食を中心とした医療以外の関連業務を外部委託する傾向が強まっています。そのような状況で、受託拡大のための営業開発員を大幅増加させた営業強化策などにより、新規施設の受託を増加することができました。

また、レストランカラオケでは、天候不順などの外的環境等の影響および競合との店舗間競争の激化により、お客様の数が前

年既存店比92.9%となりました。

これらの結果、当期の連結売上高は、155,264百万円(前期比10.2%増)となりました。連結営業利益は、3,364百万円(前期比31.8%減)となりました。これは、売上総利益が191百万円増加(前期比1.1%増)販売費及び一般管理費が1,761百万円増加(前期比13.4%増)したことなどによります。連結経常利益は、2,840百万円(前期比36.0%減)当期純利益は、前期に比べ特別利益が大幅に減少したことにより127百万円(前期比88.8%減)となりました。

### 新セグメント、コンビニエンス中食事業について

当期からシダックスシーアンドブイ(株)を子会社化したことにより、コンビニエンス中食事業が新たなセグメントとして加わりました。シダックスシーアンドブイ(株)は、主に病院、企業、学校においてお弁当の販売やコンビニエンス運営を受託しています。このコンビニエンス中食事業は、コントラクトフードサー

ビス事業やメディカルフードサービス事業と関連性が高く、これら事業の新規開拓における競争力の強化を図ることができま。さらに、医療関連施設の外部委託の増加もあり今後の成長も期待できると考えています。

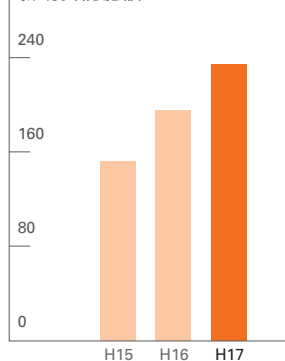
### 医療関連施設の受託数拡大

メディカルフードサービス事業の市場環境は、政府の医療改革制度の影響により、医療施設では、治療に関する業務以外を専門業者に委託する傾向が強まっています。また、高齢化が進むことによる老人ホームの増加などもあり市場は拡大しています。

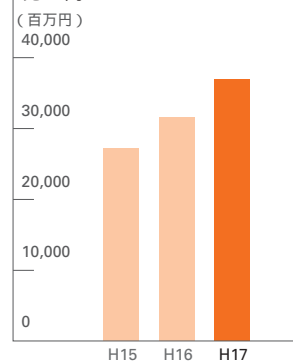
その傾向をビジネスとして取り込むために、平成15年から営業開発員を大幅に増やし営業力を強化してきました。その結果、新規受託数は平成16年3月期で195施設(前年同期比28.3%増)平成17年3月期で234施設(前年同期比20%増)となりました。

今後は、栄養士を事業所管理者であるマネージャーに登用する運営管理強化策や新規店舗の増加に対応するための従業員教育の強化で収益率を向上させていきます。

メディカルフードサービス事業  
新規受託施設

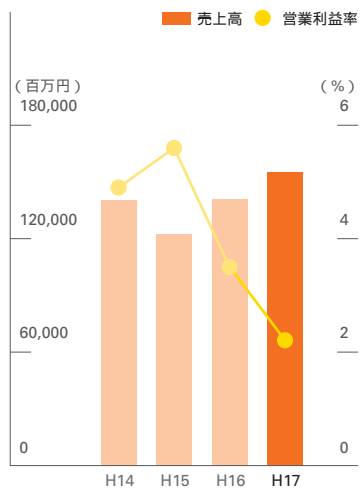


メディカルフードサービス事業  
売上高

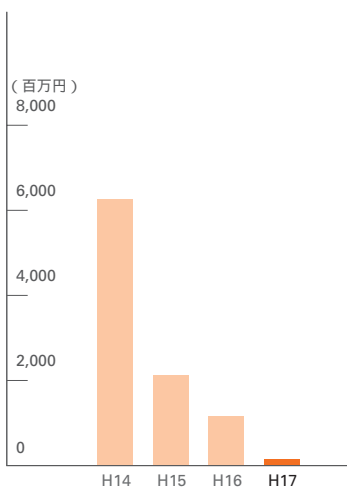


# ■ 連結データハイライト

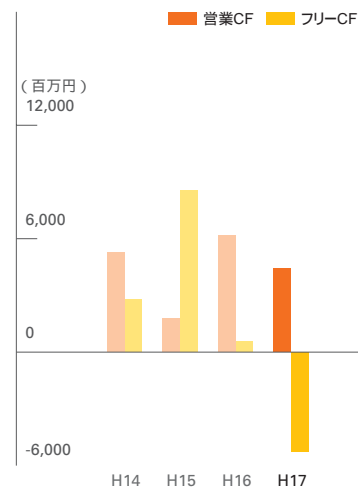
## 売上高 / 営業利益率



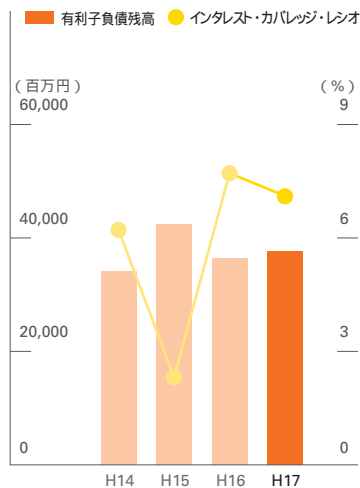
## 当期純利益



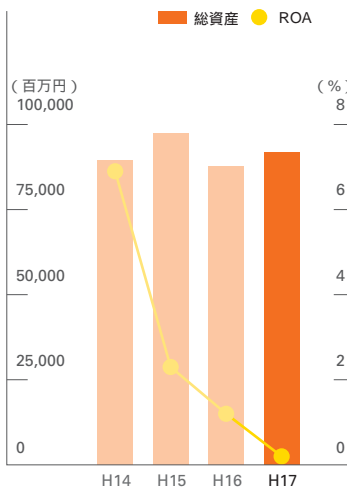
## 営業CF / フリーCF



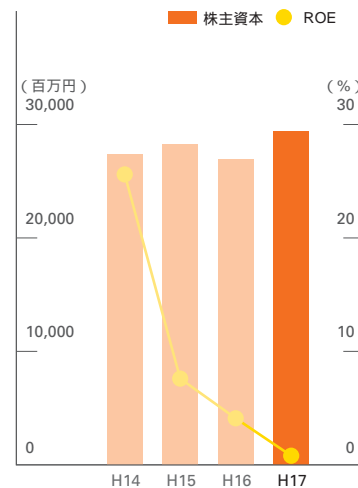
## 有利子負債残高 / インタレスト・カバレッジ・レシオ



## 総資産 / ROA



## 株主資本 / ROE

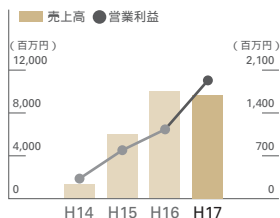


## エスロジックス事業



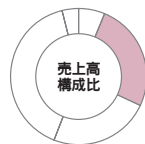
6.2%

売上高 9,638百万円 (前期比3.5%減)  
営業利益 1,932百万円 (前期比70.8%増)



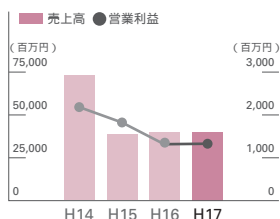
大量仕入れによるスケールメリットを生かした、グループ内や外部への食材および消耗品の一括発注・配送をしています。また、トレーサビリティや品質管理を標準化し、安全性・信頼性の高い食材提供を徹底しています。

## コントラクトフードサービス事業



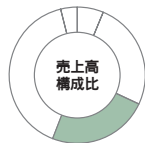
25.6%

売上高 39,777百万円 (前期比0.4%増)  
営業利益 1,321百万円 (前期比0.9%増)



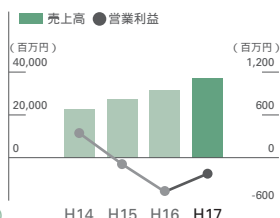
企業（オフィス、工場、保養施設）学校、官庁の食堂などを中心に、高品質の給食サービスを提供しています。また、専門レストランを本格的に展開し、そのノウハウを活用してコントラクトフードサービスのクオリティー向上につなげています。

## メディカルフードサービス事業



23.7%

売上高 36,874百万円 (前期比17.0%増)  
営業損失 227百万円 (前期は575百万円の損失)



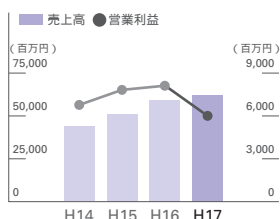
病院（患者食、職員食堂）をはじめ、老人福祉施設、養護老人ホーム、ケアハウス、在宅高齢者の方々に栄養バランスだけでなく、「おいしさ」も楽しんでいただける高付加価値の食事サービスを提供しています。

## レストランカラオケ事業



40.0%

売上高 62,074百万円 (前期比4.8%増)  
営業利益 5,984百万円 (前期比26.3%減)



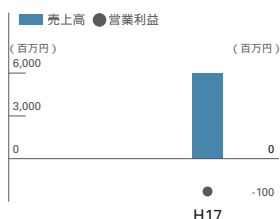
カラオケと「食事」を融合したレストランカラオケを全国で展開しています。また、レストラン並みの食事サービスに加え、地域密着型のカルチャースクール、福祉活動支援、各種イベントなども展開しています。

## コンビニエンス中食事業



3.9%

売上高 5,983百万円  
営業損失 97百万円



病院、企業、官公庁、大学・短期大学、オフィスビル等において食料品、日用品、衣料品、書籍・雑誌・新聞、医療衛生用品等を販売する売店の受託運営をしています。

全国に拡大した物流網を活用した一元食材（エス・ロジックス㈱直接取扱の当社グループ標準食材）のグループ内事業所への導入促進、一元食品以外の帳合い取引における利益率アップ、またメディカル事業における新商品開発、アイテムの絞込を目標として活動を進めたことにより、導入率がアップしました。また、事業効率を高めるため、外販事業の一部を営業譲渡しました。

### エスロジックス事業

エス・ロジックス株式会社

食材販売業務

シダックスエンジニアリング株式会社

消耗品販売業務等

多様な受託施設をセグメント化してチェーン運営できるように新しい給食を目指して、管理費制を中心としたコントラクト事業部と、単価制を中心としたビジネスレストラン事業部に分け本部指導が浸透するようにしました。さらに、赤字店の整理や客単価アップのためのセットメニュー作り等の施策を実行し、給食部門の運営の効率化を進めました。

### 給食事業

シダックスフードサービス株式会社

シダックスレストランマネジメント株式会社

シダックスフードサービス北海道株式会社

シダックスデリカクリエイティブ株式会社

エス・ミール株式会社

給食の受託運営業務等

既存店の運営レベルの強化を図るとともに、受託拡大のための営業開発員を大幅増加させた営業強化策により、国公立施設として日本有数の床数を誇る九州大学病院や、高度医療分野で有名な名古屋第二赤十字病院等の大規模総合病院を受託し、合計234施設の新規店を受託しました。さらに、栄養士を事業所管理者であるマネージャーに登用する運営管理強化策、新規店舗の増加に対応するための従業員教育の強化を進めました。

新規出店を積極的に行い、合計22店舗をオープンし平成17年3月31日現在303店舗となりました。営業面では、「ちびっこランチサービス」などのキャンペーンを展開し、ランチの充実による昼顧客層の拡大、経験豊かなスーパーバイザーの店舗再配置によるサービスの強化、地域密着の拠点としての確立などを行いました。しかし天候不順やオリンピックのテレビ観戦など外的環境の影響を受け、お客様の数が前年既存店比92.9%となりました。

### レストランカラオケ事業

シダックス・コミュニティー株式会社

レストランカラオケ業務等

既存店の運営レベルの向上を図るとともに新規店の開発に注力しました。国公立病院、官庁の売店部門の入札方式による外部委託は進みつつあり、大型店の新規獲得があった一方で、既存店の入札方式への変更により受託を失った案件もありました。また当社は売店運営に限らず床頭台業者等と提携し、委託先の周辺業務の一括受注にも注力しており成果を上げつつあります。

### コンビニエンス中食事業

シダックスシーアンドブイ株式会社

食料品、日用品、医療衛生用品等を販売する

売店の受託運営

# ■ 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	27,061	28,507
現金及び預金	12,753	14,906
受取手形及び売掛金	9,276	8,654
たな卸資産	1,308	1,063
繰延税金資産	736	961
その他	3,052	3,018
貸倒引当金	65	96
固定資産	64,817	59,184
<有形固定資産>	40,760	37,345
建物及び構築物	36,491	33,623
土地	1,181	1,187
その他	3,087	2,535
<無形固定資産>	1,144	958
<投資その他の資産>	22,912	20,879
敷金及び保証金	11,950	11,634
繰延税金資産	3,516	3,162
その他	9,832	8,576
貸倒引当金	2,386	2,493
資産合計	91,878	87,691

### 流動資産

資金効率向上を目的とした取崩しにより現金及び預金が前期末と比べて2,153百万円減少する一方、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が前期末と比べて622百万円増加したことなどにより、流動資産は前期末と比べて1,446百万円減少いたしました。

### 固定資産

本社事務所移転及びレストランカラオケ事業の新規出店などにより有形固定資産が3,414百万円及び投資その他の資産が2,033百万円それぞれ増加したことにより、固定資産は前期末と比べて5,633百万円増加いたしました。

### 負債合計

一年内返済予定長期借入金が1,679百万円増加する一方、未払金が3,105百

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	35,277	35,663
支払手形及び買掛金	9,357	8,706
短期借入金	2,045	2,196
一年内返済予定の長期借入金	11,667	9,987
未払金	3,910	7,015
賞与引当金	1,672	1,589
その他	6,623	6,168
固定負債	26,891	25,092
長期借入金	23,944	22,192
役員退職慰労引当金	499	434
連結調整勘定	1,583	1,322
繰延税金負債	517	90
その他	345	1,053
負債合計	62,168	60,756
<b>(少数株主持分)</b>		
少数株主持分	285	—
<b>(資本の部)</b>		
資本金	8,930	8,930
資本剰余金	8,098	7,847
利益剰余金	12,483	12,934
その他有価証券評価差額金	102	132
自己株式	191	2,909
資本合計	29,424	26,935
負債、少数株主持分及び資本合計	91,878	87,691

万円減少したことなどにより、流動負債は386百万円減少いたしました。また、長期借入金が増加したことなどにより、固定負債は1,798百万円増加いたしました。この結果、負債合計は前期末と比べて1,411百万円増加いたしました。

### 少数株主持分

当期からシダックスシーアンドブイ㈱を子会社化したことにより、少数株主持分が発生しております。

### 資本合計

当期に発行した無担保転換社債型新株予約権付社債3,000百万円を全額株式に転換したことなどにより、資本合計は前期末と比べて2,489百万円増加いたしました。



## 連結損益計算書

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
売上高	155,264	140,909
売上原価	136,979	122,816
売上総利益	18,284	18,092
販売費及び一般管理費	14,920	13,158
営業利益	3,364	4,934
営業外収益	316	334
営業外費用	839	833
経常利益	2,840	4,436
特別利益	382	3,091
特別損失	1,071	2,638
税金等調整前当期純利益	2,151	4,889
法人税、住民税及び事業税	1,808	2,770
法人税等調整額	267	981
少数株主損失	52	—
当期純利益	127	1,137

## 連結剰余金計算書

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
資本剰余金期首残高	7,847	7,847
自己株式処分差益	250	—
資本剰余金期末残高	8,098	7,847
利益剰余金期首残高	12,934	12,337
利益剰余金増加高	127	1,204
当期純利益	127	1,137
連結子会社増加に伴う利益剰余金増加高	—	67
利益剰余金減少高	578	607
配当金	476	512
役員賞与	101	95
(うち監査役分)	(3)	(3)
利益剰余金期末残高	12,483	12,934

## 売上高

当期は前期と比べて14,354百万円(前期比10.2%増)増加いたしました。主な増加内訳はメディカルフードサービス事業5,350百万円(前期比17.0%増)、レストランカラオケ事業2,871百万円(前期比4.8%増)、コンビニエンス中食事業5,983百万円がそれぞれ前期に比べて増加いたしました。

## 利益

当期は前期と比べて、売上総利益は191百万円増加(前期比1.1%増)、販売費及び一般管理費は1,761百万円増加(前期比13.4%増)したことなどにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ1,570百万円(前期比31.8%減)及び1,595百万円(前期比36.0%減)減少いたしました。これらの理由により、当期純利益は前期に比べて1,009百万円(前期比88.8%減)減少いたしました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,412	6,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,657	5,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,915	8,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	196	1,341
現金及び現金同等物の減少額	2,133	9,391
現金及び現金同等物の期首残高	14,636	23,923
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加高	—	105
現金及び現金同等物の期末残高	12,503	14,636

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が前期に比べて2,738百万円減少したことに加え、前期の一時的要因である退職給付引当金減少額4,702百万円の当期への影響が無いなどの理由により、営業活動から得られた資金は前期に比べて1,771百万円減少いたしました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

本店事務所移転及び新規出店などにより、投資活動に使用された資金は前期に比べて4,035百万円増加いたしました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の借入5,428百万円増加及び返済2,036百万円減少、社債発行による収入2,984百万円増加などにより、財務活動から得られる資金は前期に比べて11,527百万円増加いたしました。

## ■ 単体財務諸表

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
<b>貸借対照表</b>		
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	22,498	19,546
固定資産	38,661	28,680
有形固定資産	1,888	757
無形固定資産	884	729
投資その他の資産	35,888	27,194
資産合計	61,160	48,226
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	7,964	5,319
固定負債	17,680	10,667
負債合計	25,644	15,987
<b>(資本の部)</b>		
資本金	8,930	8,930
資本剰余金	15,429	15,178
利益剰余金	11,317	11,038
当期末処分利益	11,317	11,038
(うち当期純利益)	(840)	(2,531)
その他有価証券評価差額金	0	1
自己株式	162	2,909
資本合計	35,515	32,238
負債資本合計	61,160	48,226

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
<b>損益計算書</b>		
営業収入	7,884	—
役務提供等収入	5,345	—
不動産賃貸収入	524	—
配当収入	2,014	—
営業費用	5,284	—
不動産賃貸原価	393	—
販売費及び一般管理費	4,890	—
売上高	—	6,780
販売費及び一般管理費	—	4,294
営業利益	2,599	2,486
営業外収益	525	446
営業外費用	367	244
経常利益	2,757	2,689
特別利益	65	1,918
特別損失	1,390	990
税引前当期純利益	1,432	3,617
法人税、住民税及び事業税	236	317
法人税等調整額	355	768
当期純利益	840	2,531
前期繰越利益	10,477	8,506
当期末処分利益	11,317	11,038

	単位：百万円	
	当期 平成17年3月期	前期 平成16年3月期
<b>利益処分</b>		
当期末処分利益	11,317	11,038
利益処分額	619	561
配当金	532	476
役員賞与	87	84
(うち監査役賞与金)	(1)	(1)
次期繰越利益	10,697	10,477

### 統一事業テーマ「MOTHER FOOD」(マザーフード)への取り組み

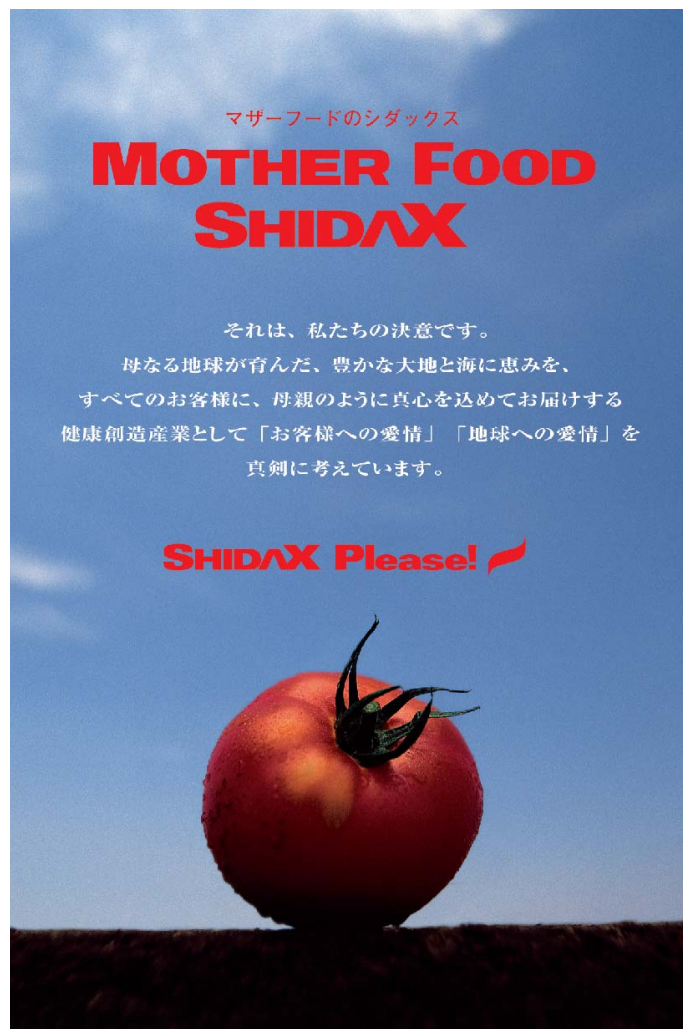
シダックスでは平成16年7月の渋谷シダックスビレッジのグランドオープンに伴い「マザーフード」をテーマに、「食」への取り組みを真剣に考え事業展開しています。マザーフードには、「母なる地球が育んだ、豊かな大地と海の恵みを、すべてのお客様に、母親のように真心を込めてお届けする」という意味が込められています。

渋谷シダックスビレッジ1階ではレストラン「トウキョウメイダイニング」を展開し、真心こめた美味しい食事を楽しめるスペースを提供しています。そこでのマーケットアイは、コントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業、レストランカラオケ事業での新たなサービスやメニューとして生かし、「美味しい、楽しい食事」の提供に役立てていきます。

また、シダックスでは母親のような気持ちで独自の「食育」活動に取り組んでいます。平成16年度においては船橋市公立中学校の「中学3年生の学校給食と食事に関する調査」を実施しました。これら調査結果や当社グループの栄養士で組織するシダックス栄養士会の研究発表を生かし、皆様の健康に配慮した食事を提供していきます。

今後は「安心・安全」の観点から食材の一元物流「エスロジックス事業」とともに、官民一体となった取り組みで「トレーサビリティ」についての取り組みを検討しています。

これからもシダックスグループは、「あなたの“美味しい！楽しい！”のために・・・」をキーワードに真剣に「食」に取り組んでいきます。



## 拡大する病院業務のアウトソーシング

- シダックスシーアンドブイ株式会社を子会社化、業務領域を拡大 -

### 医療施設を取り巻く環境の変化

現在、人口の急速な高齢化にともない医療費も年々高騰しています。そのような中で、政府は対応策として医療制度改革を推進し、医療報酬や薬価などの公定価格を引き下げています。その結果、医療・福祉施設の経営環境は厳しくなり効率的な経営が求められています。

病院には、治療行為だけでなく、それ以外の様々な業務が付随しています。病院経営の効率化が求められる状況において、経営資源を医療業務中心に投下し、給食や施設管理業務、リネン業務など医療以外の関連業務は専門業者へのアウトソーシングが進んでいます。そして、その流れは年々強くなっていくものと予測されます。

医療関連サービス	サービスの概要
売 店	食品や飲料などの日用品、医療衛生用品、入院用の日用雑貨の販売
患者給食	食事の提供、盛り付け、配膳、食器洗浄
寝具類洗濯・賃貸	寝具類の洗濯、乾燥、消毒、ユニフォームやおむつのリネンサプライ
院内清掃	治療施設・病室の清掃
滅菌・消毒	使用された医療用器具、リネン類の滅菌消毒
医療廃棄物処理	感染性廃棄物の回収、運搬、中間処理、最終処理

## シダックスシーアンドブイの特徴

現在は、病院等の医療施設における経営環境の変化に加え、患者様のニーズも高まり、質の高い医療や医療設備だけではなく、同時に質の高いアメニティなどの患者様サービスが求められています。その中で売店も患者様サービスのひとつとして重要視されつつあり、運営も高いレベルが求められています。

そのニーズを捉えるため、当社グループでは売店運営業務を受託しているシダックスシーアンドブイ(株)を子会社化し、新たなセグメントとしてコンビニエンス中食事業を設けました。

シダックスシーアンドブイ(株)は、病院向けに専門特化した院内売店を開設・運営するサービスを提供し、全国312店舗(平成17年3月31日現在)を運営しています。

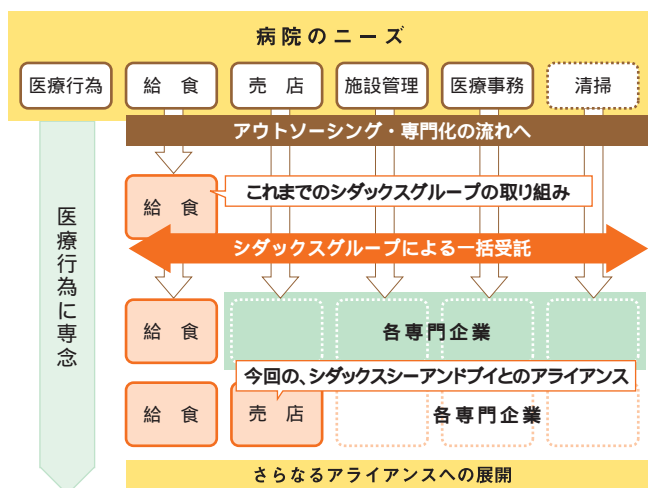
シダックスシーアンドブイ(株)の特徴は、店舗や商品などのハード面と接客などのソフト面を兼ね備えていることです。

まず、店舗や商品といったハード面に関しては、病院売店に専門特化した店舗や商品づくりの実績とノウハウを生かし、売店を病院様ごとにカスタムメイドするだけではなく患者様の視点で店舗作りと運営ができることが挙げられます。売店のカスタムメイドとは、パターン化した店舗作りではなく、病院様の基本理念や運営方針を踏まえ、その要望やスペースの広さ、病床数や利用者、病院の種類などに応じて、店舗設計と運営をすることで、最適な売店の提供を可能にすることです。品揃えに関しても3,000点以上に及び豊富な取扱商品とPOSシステムを活用したお客様の求める商品、そして専門特化ならではの充実した医療衛生用品を提供することができます。

ソフト面に関しては、接客教育などの人材教育に力を入れており、特に病院様の理念を理解し守秘義務を徹底するなど、病院というデリケートな施設で勤務することの自覚を持たせるよう教育しています。そのうえで、販売スタッフは和やかで楽しい雰囲気を作り出すように教育され接客に生かしています。そうしたことにより、患者様にとって「安全」で「リフレッシュの場」、「癒しの場」となるようにしています。

### 今後の戦略

今後の展開については単独での営業開発に加え、拡大するアウトソーシングの流れを捉え、的確にビジネス化していく考えです。そのために、メディカルアライアンス推進担当役員を置き、リネン、検査、医療事務、廃棄物処理、処方などの病院業務の中で、M&Aを含めた他企業とのアライアンス戦略を検討し、事業領域の拡大を図っていきます。



## レストランカラオケ ゴールド宗右衛門町クラブオープン

カラオケ業界のトレンドは、施設の大型化が進み1施設当たりのルーム数は増加していますが、小規模店の淘汰による減少でカラオケルーム数は横ばいの状況が続き、カラオケ参加人口も横ばいとなっています。また、カラオケに対して、「歌う楽しさ」を求めるといった本質的な要求は変わりませんが、その利用目的・利用方法は、少しずつ変化していると思われます。

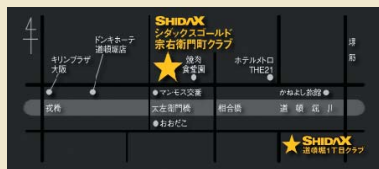
そのような状況に対応し、お客様のニーズを、多様化・細分化した戦略として、「個」を意識した取り組みを進めていきます。その戦略の1つが、ゴールド宗右衛門町クラブになります。

ゴールド宗右衛門町クラブは、「狭い」、「汚い」、「子供っぽい」といったカラオケルームに対するイメージを少しでも変え、個室でお食事や会話を楽しんでいただくことを目的としたちょっと

贅沢なカラオケの「ゴールドメンバー」になっていただくことを狙いとしています。

そのため、施設は個室でゆっくりと寛ぐ贅沢な時間・空間を演出し、料理は食材にこだわったコース料理も揃えています。また、サービスや接客などにいたってもホテルのおもてなしを目指しています。

このように、カラオケルームをコミュニケーションの場としての特性を生かすことで、「顧客満足度の向上」や「新規顧客の獲得」、「リピート率アップ」につなげています。そして、地域で「暮らす人々」、「働く人々」、「訪れる人々」を詳細に分析、観察し、店舗の差別化を図っていきます。



住所：大阪市中央区宗右衛門町5-17

電話：06-6213-7501

営業時間：5:00p.m～7:00a.m.

全37ルーム【年中無休】

## 会社の概要 (平成17年3月31日現在)

商号	シダックス株式会社
英文商号	SHIDAX CORPORATION
設立年月日	平成13年4月2日
資本金	8,930百万円
従業員数	3,749名
本店所在地	〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3
本社事務所	〒150-0041 東京都渋谷区神南一丁目12番13号 渋谷シダックスビレッジ

## 役員 (平成17年3月31日現在)

代表取締役会長	志太 勤	取締役	大津 宏
代表取締役社長	志太 勤一	取締役	岸川和彦
代表取締役副社長	若松正雄	取締役	荻野 裕
専務取締役	遠山秀徳	監査役(常勤)	鈴木興一
常務取締役	藤田一郎	監査役	井戸 昇
取締役	渡邊一民	監査役	榎 国男
取締役	小柴宏美	監査役	重泉良徳

(注) 監査役重泉良徳氏は、「株式会社監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 株式の状況 (平成17年3月31日現在)

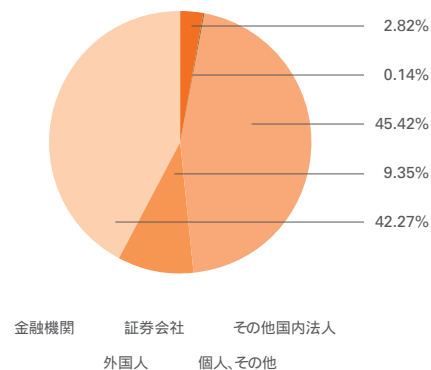
会社が発行する株式の総数	1,400,000株
発行済株式の総数	357,214.62株
株主数	17,408名

### 大株主(上位10位)

株主名	所有株数(株)	出資比率(%)
志太基金株式会社	53,092.66	14.86
志太 勤	52,902.32	14.80
エスアンドエイ株式会社	48,001.46	13.43
株式会社シダ・セーフティ・サービス	33,778.00	9.45
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	22,249.93	6.22
志太 勤一	20,833.56	5.83
有限会社シャトーティーエス	20,670.62	5.78
志太 正次郎	6,049.26	1.69
バンクオブニューヨーク・シー・エム・クライアント・アカウンツ・アイエス・アイ	4,704.00	1.31
志太 富路	3,809.84	1.06

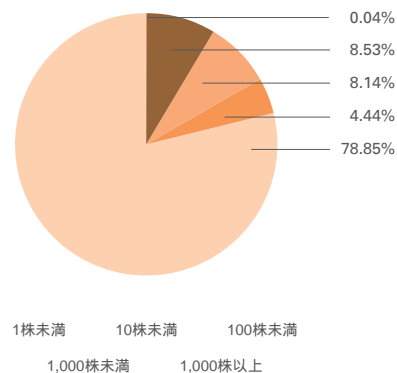
## 所有者別株式分布

(平成17年3月31日現在)



## 所有株数別株式分布

(平成17年3月31日現在)





## 株主優待のご案内

3月31日、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様に対し、それぞれ、以下の基準により、カラオケ店舗でご利用頂けるレストランカラオケ優待券を贈呈いたします。

贈呈基準	1株以上5株未満 5株以上	ルーム料金1,000円割引券15枚 ルーム料金1,000円割引券45枚
利用方法	全国のレストランカラオケシダックスにて、ルーム料金の支払いとして、現金との併用又は、優待券のみでご利用いただけます。なお、5名様以下のご利用時は2枚まで、6名様以上のご利用時は利用枚数に制限はありません。	
有効期限	3月31日現在株主様への優待券 発行された翌年の6月30日まで 9月30日現在株主様への優待券 発行された翌年の12月31日まで	

## 株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月
配当株主確定日	3月31日 (ただし、中間配当を行う場合は、9月30日)
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
(連絡先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-3323-7111(代表)
各種手続き用紙のご請求先	フリーダイヤル 0120-87-2031
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	東京都において発行される日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	<a href="http://www.shidax.co.jp/ir/koukoku">http://www.shidax.co.jp/ir/koukoku</a>